

市民活動支援センター

愛称：はんだまちづくりひろば

市民活動情報



市民“活”動やボランティア“活”動をはじめとするさまざまな社会貢献“活”動が、“どん”どん広がって、半田市がいきいきと暮らしやすいまちになるよう、市内で行われている取組を紹介します。みなさんも無理をせず身近なことから始めてみませんか。

市民活動・ボランティア活動に関する相談窓口

【相談窓口】市民交流センター(クラシティ3階)

【開所時間】月曜日～土曜日 9時～17時15分

【休館日】毎月第4水曜日(祝日の場合はその翌日)

年末年始(12月29日～1月4日)

☎32-3440

E-mail

machihiro@city.handa.lg.jp

取組紹介：学!コラボ フィールドワーク【学校×企業×市民活動団体×行政】

昨年、半田市では高校生を対象に身近な地域の課題解決のために活動している市民活動団体を知り、理解する事業「学!コラボ2022」を開催しました。

市民活動団体による活動内容についてプレゼンを受けた高校生が、企業(株式会社三菱UFJ銀行半田支店、八洲建設株式会社)からの協賛金を投票により分配することで協働意識や社会参画・貢献意識の醸成を図る事業です。

今回は、半田商業高等学校の生徒が、自分が投票した団体の活動を実際に体験することで、より一層の理解を深めてもらうため、フィールドワークを実施しました。

ハンダーFOX製作委員会の活動に参加した生徒は、自身で考えた高校の魅力を発信するヒーローショーを実施しました。生徒からは、「おもしろ



▲ヒーローショーの製作体験

く地域の魅力を発信することは良いことだと実感した。今後自分も同様な活動をしたい」との声があがりました。

雁宿小学校避難所運営委員会の活動に参加した生徒は、体験学習として避難所運営ゲームを行いました。生徒はゲームをしていく中で、臨機応変・柔軟な考え方が求められることを学び、「災害時には協力したい」という声があがりました。



▲チームで避難所運営を模擬体験

NPO法人子どもたちの生きる力をのばすネットワークに投票した生徒は、アイプラザ半田内にある活動現場を見学しました。この活動を身近な誰かに伝え、多くの人に知ってほしいとの話があり、参加した生徒からは「スタッフとして活動してみたい」といった声があがりました。



▲活動の現場を見学

「学!コラボ」を通じ、地域の課題を自分事として考え、今後の社会参画の入口として実感してもらえきるきっかけになりました。